全国 検数労連

６０９号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館５階
Tel　03(3733)5621　　Fax　03(3733)5622
メール　　roren@kensu.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局

６月６日（木）１０：００～１１：００　第１回　検数労連１９夏季一時金交渉

１９夏季一時金交渉スタート！スト権９５％以上の賛成票を獲得！

職場の現状と強い期待を受け止め、要求に沿った回答を！

《１９夏季一時金要求書（要旨）》

①日検協会
職員
（本給＋家族）× ３．０ヵ月 ＋ 一律１０万円＋都市加算

②全日検
職員Ａ
（本給＋家族）×３．０ヵ月＋一律１０万円＋都市加算
職員Ｂ
（本給＋地域年齢）×３．０ヵ月＋一律１０万円＋都市加算

③都市加算の支給区分と金額については、別表の通りとすること。

④職員以外の従業員は、職員に準じて支給すること。

⑤支給日については２０１９ 年７月１０日（水）とすること。

【１９夏季一時金スト権集約結果】

地区名	項目	賛成	反対	白紙	棄権	合計
全　国	夏季一時金	９３６	５	１０	０	９５１
	諸要求	９３７	４	１０	０	９５１
	産別課題	９２２	１８	１１	０	９５１
	国民的課題	９０４	３６	１１	０	９５１

第１回検数労連１９夏季一時金要求書提出

６月６日（木）第１回検数労連19夏季一時金交渉で、両協会に19夏季一時金要求書を提出しました。

要求書提出にあたり組合は趣旨説明で両協会に対し、全国の職場で深刻な人員不足のなか、週休等の休暇が取得できない状況にあり、職場では強い不満の声が上がっていることや、働き方改革による時間外規制等で、これまで時間外労働に依存してきた検数労働者の月例賃金が目減りしている実態などが多く寄せられている。

賃金の減少は職場の離職率にも影響を及ぼし検数両協会にとっても大きなダメージを被ることにもつながる。活力ある職場づくりへの対応として『企業の基本は人への投資』をしっかりと実践し、労働者にとって働きやすい職場環境を整えることが、就労意欲を増進し、企業の利益につながるものと確信する。

検数労働者の一時金は、長年に亘り月例賃金の赤字分を補てんするという構図となっている。その意味でも一時金は極めて重要な位置付けにあることは、これまでの一時金交渉の中でも強く主張し続けてきた。こうした考え方や職場アンケート調査の意見を踏まえたうえで19夏季一時金要求を全国代表者会議で議論した結果、全体の総意で要求内容を決定した。

両協会に対しては、組合が日々取り組んでいる『仕事と収入の確保』運動への適正な還元を求めるとともに、人員不足の中、職場で奮闘している組合員の努力に応えるべく要求に沿った回答構築を強く求める。

【組合主張】

全国的な人員不足により労働が強化されているなか、働き方改革によって時間外も減っている。このことにより日々の生活賃金も目減りしている状況の中、従業員の一時金への期待は大きいものとなっている。従業員の期待に応えるべく、要求に沿った回答を強く求める。

両協会が都度主張する収支状況に応じた一時金の抑制は絶対に認めない。

全日検の特別評価については廃止し、その原資を全体配分すること。

19春闘で職員Ａの住宅手当が本給に組み入れられ、月例本給での格差が生まれた。一時金で地域格差を是正するため、組合要求に沿った回答方式にすることを強く求める。

日検協会においては、要求にない『業績加算』には反対する。

【両協会】

両協会は要求書を受け取ったうえで、『労組の趣旨説明を真摯に受け止めながら持ち帰り要求内容を検討し、しかるべき時期には回答していきたい。』と応じた。

【スト権】

19夏季一時金スト権確立に向け、５月30日（木）～６月５日（水）までを投票期間として中央集約をした結果、上記の通り全ての項目において95％以上の賛成票を確立しました。

一時金闘争勝利に向け、全国団結で頑張りましょう。

次回交渉

第2回　検数労連19夏季一時金交渉

6月11日（火）14時～。

両協会に一時金に関する基礎数字の提示を求めます。